

緩和ケア通信

令和2年3月23日

津島市民病院緩和ケア病棟理念

つね(常)に寄り添い
しんし(真摯)な心で
まごころ(真心)こめて
その人の持つ生きる力を支援します

もっと知って！緩和ケア Q&A



Q.緩和ケアとはどのようなものですか？

A.がんやがん治療によって引き起こされる「つらさ」は痛みや身体のだるさなどの「体のつらさ」だけではなく、「心のつらさ」「生活のつらさ」などもあります。それらすべてのつらい症状を軽減するのが緩和ケアです。「心のつらさ」などはがんと診断された時から感じるものだと思います。緩和ケアとはがんと診断された時から、がん治療と一緒に受けられるケアです。

以前は緩和ケア病棟のイメージは「看取りの近い方が入るところ」「終の棲家」といったイメージがありましたが、今は緩和ケア病棟で苦痛が軽減し、体調が整えば、自宅や施設に退院される方もみえます。

2月より緩和ケア病棟の医師が高木に変更いたしました。よろしくお願ひ致します。

1月10日は鏡開きを行いました。スタッフ・ボランティアさん手作りぜんざいを患者さん・ご家族に味わっていただきました。

2月7日は高木医師が赤鬼になり、患者さんとご家族ともに厄払いの豆まきを行い、季節のイベントをみなさんと過ごすことができました。

～次回お茶会のお知らせ～

3月27日(金)お茶会 6階西病棟談話室にて14時より行います

4月24日(金)春のイベント予定

※新型コロナウイルスが流行している中であるため、お茶会やイベントはその時々での判断にて室内による家族・スタッフとの団欒・もしくは中止になる可能性があります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



高木鬼がやってきました！

御嶽山もきれいに
みえました。

